



福澤諭吉が訪れ、森鷗外の  
著作にも登場した中学校は  
宝飯地域の人々が  
設立した中学校でした。



宝飯中学校に教師を派遣した  
福澤諭吉  
〔写真提供・慶應義塾福澤研究センター〕

令和元年  
12月7日(土) — 令和2年  
1月26日(日)

三河ではじめての中学校  
**宝飯中学校**

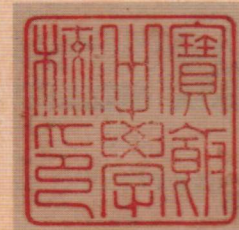
- 〔観覧時間〕 午前9時〜午後5時
- 〔休館日〕 月曜日(ただし、1月13日は開館)
- 〔観覧料〕 無料
- 〔会場〕 豊川市桜ヶ丘ミュージアム 第4展示室
- 〔主催〕 豊川市桜ヶ丘ミュージアム



宝飯中学校写真



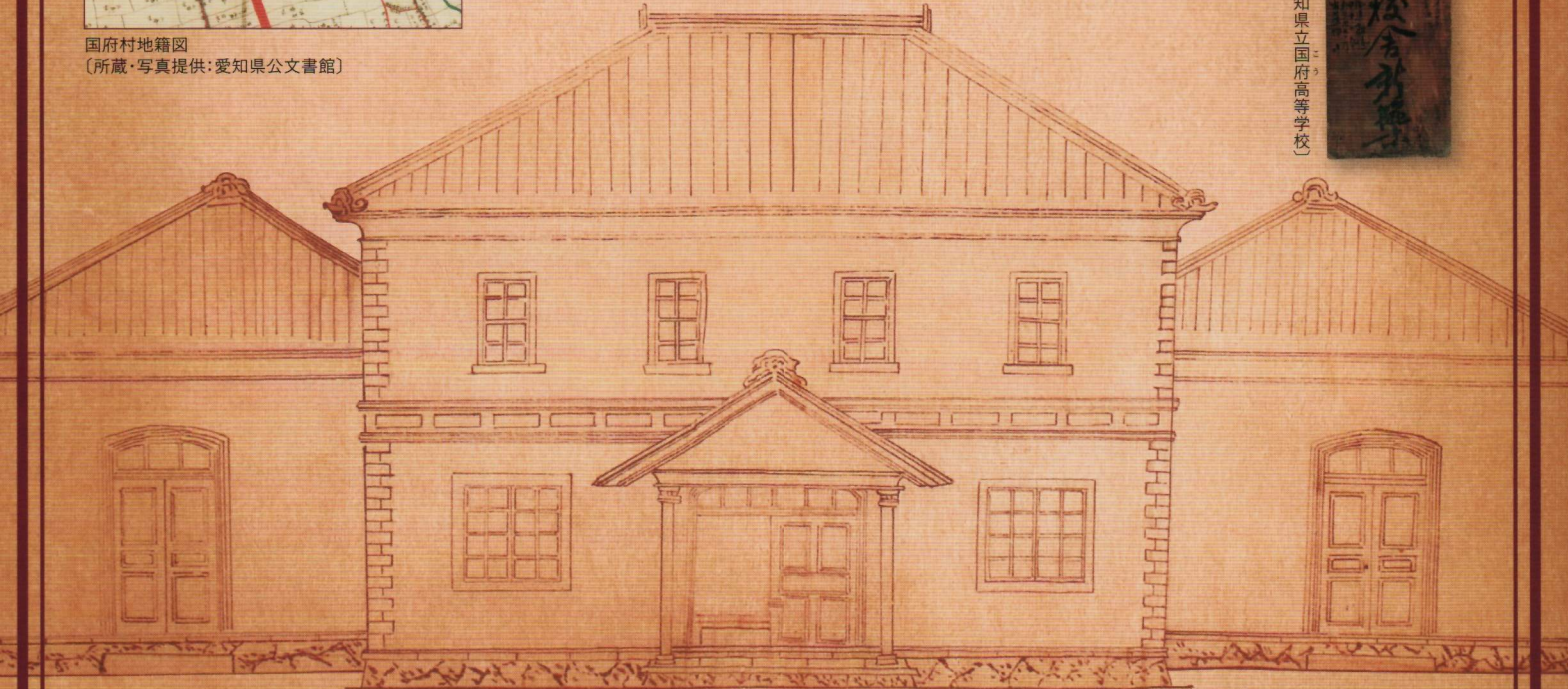
国府村地籍図  
〔所蔵・写真提供：愛知県公文書館〕



宝飯中学校印影



宝飯中学校棟札〔所蔵：愛知県立国府高等学校〕



宝飯中学校々舎新築之何より〔所蔵：愛知県公文書館〕

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 TEL(0533)85-3775





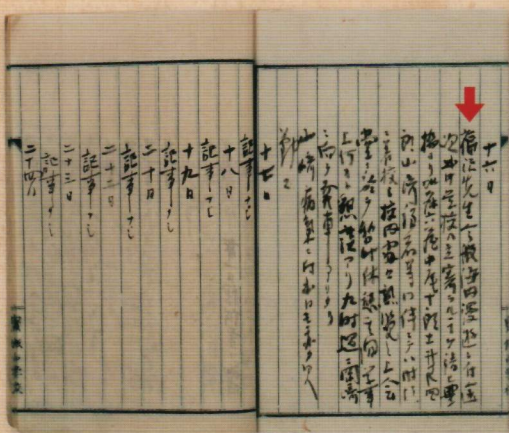
# 三河ではじめての中学校 宝飯中学校

明治14年(1881)9月、三河で初めての中学校「宝飯中学校」が誕生しました。これは、尾張地域に開設されていた愛知県中学校に対して、三河地域でも中学校開校の機運が高まり、宝飯郡国府村に新設されたものです。

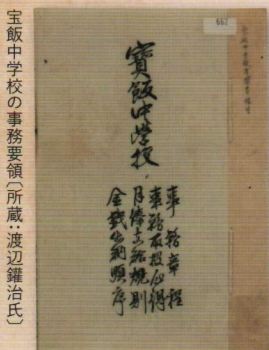
同校の設立にあたっては、地元有力者らが連携して尽力し、有志及び宝飯郡内の104か村から寄附金を募り、その後の運営もほとんど寄附で行なわれました。また同校では、慶応義塾出身者を教員に採用し、明治19年3月には福澤諭吉の訪問が実現しています。

ところが、明治19年4月の中学校令の制定により、宝飯中学校は廃校(宝飯郡第一高等小学校へと改変)になってしまいました。

本展覧会では、足掛け6年という短い期間でその役割を終えたため、断片的なことしか知られず歴史に埋もれた「まぼろし」の宝飯中学校を取り上げます。



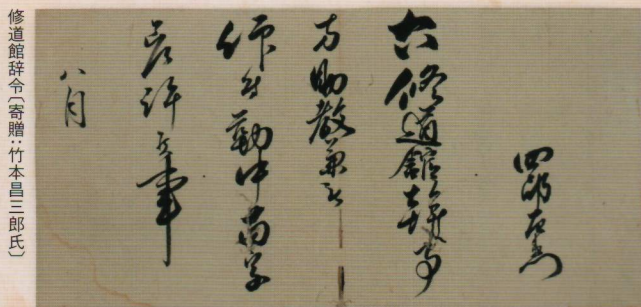
宝飯中学校日誌の明治19年3月16日条は、福澤諭吉が宝飯中学校に立ち寄ったことを記している。(豊川市立国府小学校所蔵、当館寄託)



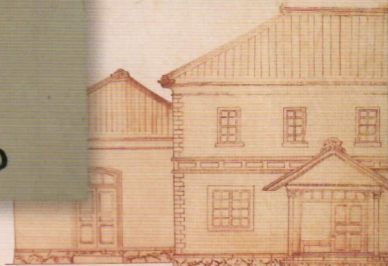
宝飯中学校の事務要領(所蔵:渡辺鍾治氏)



宝飯中学校設立賛成寄附人名録(所蔵:豊川進雄神社)

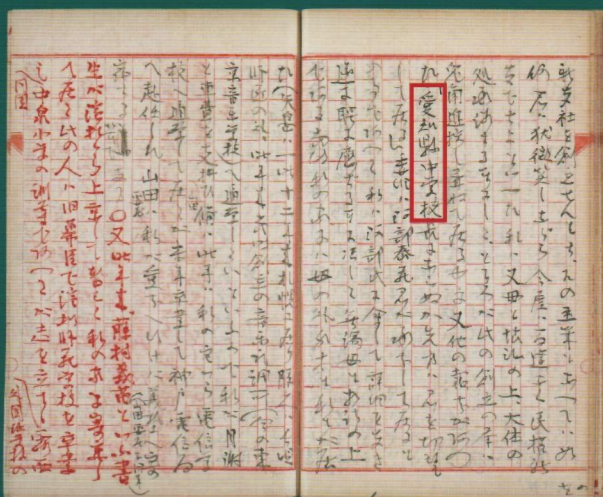


修道館辞令(寄贈:竹本昌三郎氏)



森鷗外

(写真提供:文京区立森鷗外記念館)



## 森鷗外が記した 宝飯中学校?

森鷗外が著した史伝『渋江抽齋』のなかに登場する抽齋の息子・保が赴任した学校「愛知県立宝飯中学校」は、尾張地域の愛知県立宝飯中学校ではなく宝飯郡国府村での出来事なども記している。

### 抽齋没後

渋江抽齋の息子・保が提供した資料を、森鷗外がまとめたもの。『渋江抽齋』はこの資料に依って執筆された。(写真提供:所蔵:東京大学総合図書館)

## 【会期中のイベント】

### 講演会1

#### 渋江保 その数奇な運命をたどる 宝飯中学校時代を中心に

12月22日(日) 14:00~

講師:山本 勉先生

場所:豊川市桜ヶ丘

ミュージアム会議室

定員:60名

(予約不要・当日先着順)

参加費:無料



### 講演会2

#### 明治前期の中学校の 制度的展開と宝飯中学校

1月18日(土) 14:00~

講師:山下 康太郎先生

場所:豊川市桜ヶ丘

ミュージアム会議室

定員:60名

(予約不要・当日先着順)

参加費:無料



### ギャラリートーク

#### 学芸員による展示解説

令和元年12月22日(日) 11:00~、令和2年1月19日(日) 14:00~ 予約不要



### 【交通案内】

電車 ● JR飯田線「豊川」駅、名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩約15分  
バス ● JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで「桜ヶ丘ミュージアム」下車徒歩1分  
車 ● 東名高速「豊川IC」から豊川稲荷方面へ約10分  
駐車場約100台:無料/公園と共用  
※土日は混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用や乗合せにご協力ください。

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM  
豊川市桜ヶ丘ミュージアム  
〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2 TEL (0533) 85-3775